



RADIUS アカウンティング内の Framed-Route

RADIUS アカウンティング内の Framed-Route 機能は、RADIUS Accounting-Request アカウンティング レコードに Framed-Route (RADIUS 属性 22) 情報を挿入します。Framed-Route 情報は、Accounting-Request パケットで RADIUS サーバーに返されます。Framed-Route 情報を使用すれば、ユーザー単位ルートがネットワーク アクセス サーバー (NAS) 上の特定の静的 IP 顧客に適用されているかどうかを確認できます。

- [RADIUS アカウンティング内の Framed-Route の前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [RADIUS アカウンティング内の Framed-Route に関する情報 \(1 ページ\)](#)
- [RADIUS アカウンティング内の Framed-Route のモニター方法 \(2 ページ\)](#)
- [RADIUS アカウンティング内の Framed-Route の設定例 \(2 ページ\)](#)
- [その他の参考資料 \(3 ページ\)](#)
- [RADIUS アカウンティング内の Framed-Route の機能情報 \(5 ページ\)](#)

RADIUS アカウンティング内の Framed-Route の前提条件

認証、許可、アカウンティング (AAA)、RADIUS サーバー、および RADIUS 属性スクリーニングの設定に精通している必要があります。

RADIUS アカウンティング内の Framed-Route に関する情報

Framed-Route 属性 22

インターネット技術特別調査委員会 (IETF) 標準の RFC 2865 で属性 22 として定義されている Framed-Route は、NAS 上のユーザーに対して設定すべきルーティング情報を提供します。通常、Framed-Route 属性情報は、Access-Accept パケットで RADIUS サーバーから NAS に送信されます。この属性は複数挿入できます。

RADIUS アカウンティング パケット内の Framed-Route

RADIUS アカウンティング パケット内の Framed-Route 属性情報は、NAS 上の特定の静的 IP 顧客に適用されたユーザー単位ルートを表します。現在は、Framed-Route 属性情報が Access-Accept パケットで送信されます。Framed-Route 属性情報は、Access-Accept パケットに挿入され、正常に適用されていれば、Accounting-Request パケットでも送信されます。Accounting-Request パケットには、0 個以上の Framed-Route 属性を挿入できます。



(注) Access-Accept パケット内に複数の Framed-Route 属性が存在する場合は、Accounting-Request 内にも複数の Framed-Route 属性を挿入できます。

Framed-Route 情報は、accounting Delay-Start の設定時に、Stop および Interim アカウンティング レコードと Start アカウンティング レコードで返されます。

Framed-Route 属性情報を RADIUS アカウンティング パケットで返すための設定は不要です。

RADIUS アカウンティング内の Framed-Route のモニター方法

`debug radius` コマンドを使用して、Framed-Route (属性 22) の情報が RADIUS Accounting-Request パケットで送信されているかどうかをモニターします。

RADIUS アカウンティング内の Framed-Route の設定例

debug radius コマンドの出力例

次の例では、`debug radius` コマンドを使用して、Framed-Route (属性 22) 情報が Accounting-Request パケットで送信されているかどうかを確認します (00:06:23: RADIUS: Framed-Route [22] 26 "10.80.0.1 255.255.255.255 10.60.0.1 100" の行を参照)。

```
Router# debug radius
00:06:23: RADIUS: Send to unknown id 0 10.1.0.2:1645, Access-Request, len 126
00:06:23: RADIUS: authenticator 40 28 A8 BC 76 D4 AA 88 - 5A E9 C5 55 0E 50 84 37
00:06:23: RADIUS: Framed-Protocol [7] 6 PPP [1]
00:06:23: RADIUS: User-Name [1] 14 "nari@trw1001"
00:06:23: RADIUS: CHAP-Password [3] 19 *
00:06:23: RADIUS: NAS-Port [5] 6 1
00:06:23: RADIUS: Vendor, Cisco [26] 33
00:06:23: RADIUS: Cisco AVpair [1] 27 "interface=Virtual-Access1"
00:06:23: RADIUS: NAS-Port-Type [61] 6 Virtual [5]
00:06:23: RADIUS: Service-Type [6] 6 Framed [2]
00:06:23: RADIUS: NAS-IP-Address [4] 6 12.1.0.1
00:06:23: RADIUS: Acct-Session-Id [44] 10 "00000002"
00:06:23: RADIUS: Received from id 0 10.1.0.2:1645, Access-Accept, len 103
```

```

00:06:23: RADIUS:  authenticator 5D 2D 9F 25 11 15 45 B2 - 54 BB 7F EB CE 79 20 3B
00:06:23: RADIUS:  Vendor, Cisco [26] 33
00:06:23: RADIUS:  Cisco AVpair [1] 27 "interface=Virtual-Access1"
00:06:23: RADIUS:  Service-Type [6] 6 Framed [2]
00:06:23: RADIUS:  Framed-Protocol [7] 6 PPP [1]
00:06:23: RADIUS:  Framed-IP-Netmask [9] 6 255.255.255.255
00:06:23: RADIUS:  Framed-IP-Address [8] 6 10.60.0.1
00:06:23: RADIUS:  Framed-Route [22] 26 "10.80.0.1 255.255.255.255 10.60.0.1
100"
<=====
00:06:23: RADIUS:  Received from id 2
00:06:24: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface Virtual-Access1, changed state
to up
00:06:25: AAA/AUTHOR: Processing PerUser AV route
00:06:25: Vi1 AAA/PERUSER/ROUTE: route string: IP route 10.80.0.1 255.255.255.255
10.60.0.1 100
00:06:25: RADIUS/ENCODE(00000002): Unsupported AAA attribute timezone
00:06:25: RADIUS(00000002): sending
00:06:25: RADIUS: Send to unknown id 1 10.1.0.2:1646, Accounting-Request, len 278
00:06:25: RADIUS:  authenticator E0 CC 99 EB 49 18 B9 78 - 4A 09 60 0F 4E 92 24 C6
00:06:25: RADIUS:  Acct-Session-Id [44] 10 "00000002"
00:06:25: RADIUS:  Tunnel-Server-Endpoi[67] 12 00:"10.1.1.1"
00:06:25: RADIUS:  Tunnel-Client-Endpoi[66] 12 00:"10.1.1.2"
00:06:25: RADIUS:  Tunnel-Assignment-Id[82] 15 00:"from_isdn101"
00:06:25: RADIUS:  Tunnel-Type [64] 6 00:L2TP [3]
00:06:25: RADIUS:  Acct-Tunnel-Connecti[68] 12 "2056100083"
00:06:25: RADIUS:  Tunnel-Client-Auth-I[90] 10 00:"isdn101"
00:06:25: RADIUS:  Tunnel-Server-Auth-I[91] 6 00:"lns"
00:06:25: RADIUS:  Framed-Protocol [7] 6 PPP [1]
00:06:25: RADIUS:  Framed-Route [22] 39 "10.80.0.1 255.255.255.255 10.60.0.1
100"
<=====
00:06:25: RADIUS:  Framed-IP-Address [8] 6 10.60.0.1
00:06:25: RADIUS:  Vendor, Cisco [26] 35
00:06:25: RADIUS:  Cisco AVpair [1] 29 "connect-progress=LAN Ses Up"
00:06:25: RADIUS:  Authentic [45] 6 RADIUS [1]
00:06:25: RADIUS:  User-Name [1] 14 "username1@example.com"
00:06:25: RADIUS:  Acct-Status-Type [40] 6 Start [1]
00:06:25: RADIUS:  NAS-Port [5] 6 1
00:06:25: RADIUS:  Vendor, Cisco [26] 33
00:06:25: RADIUS:  Cisco AVpair [1] 27 "interface=Virtual-Access1"
00:06:25: RADIUS:  NAS-Port-Type [61] 6 Virtual [5]
00:06:25: RADIUS:  Service-Type [6] 6 Framed [2]
00:06:25: RADIUS:  NAS-IP-Address [4] 6 10.1.0.1
00:06:25: RADIUS:  Acct-Delay-Time [41] 6 0

```

その他の参考資料

関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
Cisco IOS コマンド	『Cisco IOS Master Commands List, All Releases』
セキュリティコマンド：コマンド構文の詳細、コマンドモード、コマンド履歴、デフォルト設定、使用上のガイドライン、および例	『Cisco IOS Security Command Reference』

関連項目	マニュアルタイトル
RADIUS	「Configuring RADIUS」機能モジュール。

標準

標準	タイトル
この機能でサポートされる新規の標準または変更された標準はありません。また、既存の標準のサポートは変更されていません。	--

MIB

MIB	MIB のリンク
なし。	<p>選択したプラットフォーム、Cisco ソフトウェアリリース、およびフィーチャセットの MIB を検索してダウンロードする場合は、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。</p> <p>http://www.cisco.com/go/mibs</p>

RFC

RFC	タイトル
RFC 2865	『Remote Authentication Dial In User Service (RADIUS)』
RFC 3575	『IANA Considerations for RADIUS (Remote Authentication Dial In User Service)』

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>シスコのサポート Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンラインリソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報を入手するために、Cisco Notification Service (Field Notice からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p>	http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html

RADIUS アカウンティング内の Framed-Route の機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレーンで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: RADIUS アカウンティング内の Framed-Route の機能情報

機能名	リリース	機能情報
RADIUS アカウンティング内の Framed-Route	Cisco IOS XE Release 2.1	<p>RADIUS アカウンティング内の Framed-Route 機能は、RADIUS Accounting-Request アカウンティングレコードに Framed-Route (RADIUS 属性 22) 情報を挿入します。</p> <p>この機能は、Cisco IOS XE Release 2.1 で、Cisco ASR 1000 シリーズ アグリゲーション サービス ルータに導入されました。</p>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。